

# 平成23年度第1四半期 決算の概要

1 新契約の状況	1ページ	5 資産運用の状況	5ページ
2 保有契約の状況	2ページ	6 基礎利益の状況	7ページ
3 損益の状況	3ページ	7 健全性の状況	8ページ
4 資産・負債の状況	4ページ		

**株式会社 かんぽ生命保険**  
平成23年8月12日

# 1 新契約の状況

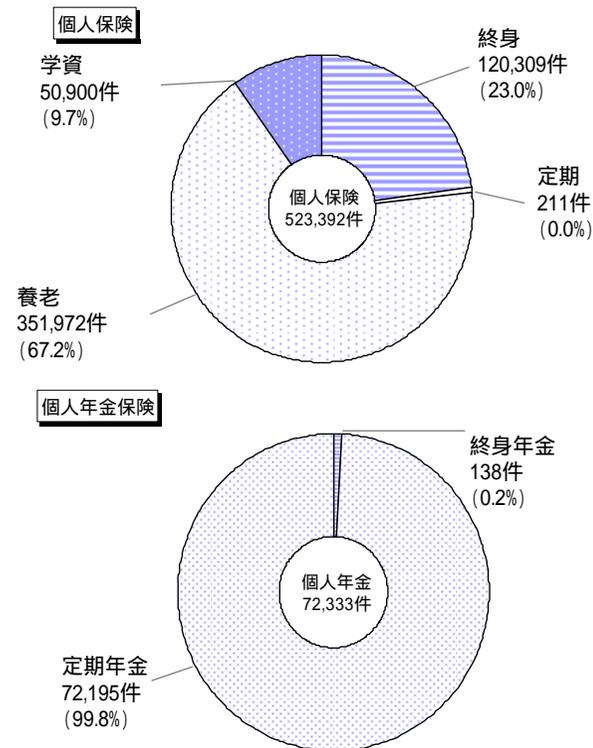
平成23年度第1四半期累計期間の新契約は、個人保険が52万3千件、金額1兆5,370億円、個人年金保険が7万2千件、金額2,492億円となりました。

(単位未満四捨五入)

	平成23年度第1四半期累計期間新契約 (平成23年4月～平成23年6月)		平成22年度第1四半期累計期間新契約 (平成22年4月～平成22年6月)	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	523,392	1,537,011	523,516	1,493,523
普通終身	73,565	255,382	72,862	250,254
定額型	15,943	41,193	14,021	35,085
倍型	57,622	214,189	58,841	215,169
特別終身	46,744	146,598	37,369	113,889
普通定期	211	447	224	508
普通養老	230,249	599,696	231,988	593,994
特別養老	116,146	476,392	113,860	464,047
特定養老	5,577	5,568	5,733	5,549
学資保険	50,900	52,928	61,473	65,234
上記以外	-	-	7	49
個人年金保険	72,333	249,214	82,081	281,317
終身年金	138	1,280	1,388	10,869
定期年金	72,195	247,934	80,693	270,449

(単位:件、百万円)

平成22年度新契約 (平成22年4月～平成23年3月)	
件数	金額
2,055,162	5,905,313
287,187	987,195
61,212	156,731
225,975	830,464
162,666	502,391
813	1,888
917,501	2,397,763
427,460	1,745,249
22,504	22,104
237,024	248,675
7	49
239,355	823,390
3,920	31,821
235,435	791,568



## 2 保有契約の状況

平成23年度第1四半期末のかんぽ生命の保有契約は、個人保険664万件、金額19兆円、個人年金保険76万件、金額2兆4千億円となっております。

独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険3,420万件、保険金額95兆1千億円、年金保険473万件、年金額1兆8千億円となっております。

(単位未満四捨五入)

【参考】受再している簡易生命保険の契約状況

(単位: 件、百万円)

(単位: 件、百万円)

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者: 株式会社かんぽ生命保険)			
	平成23年6月末		平成23年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	6,638,319	18,999,169	6,180,457	17,642,154
普通終身	975,618	3,308,596	914,126	3,096,640
定額型	170,634	425,026	156,087	387,228
倍型	804,984	2,883,570	758,039	2,709,412
特別終身	455,940	1,373,233	412,702	1,237,258
普通定期	2,620	10,306	2,484	9,725
普通養老	2,810,265	7,096,470	2,605,999	6,574,477
特別養老	1,486,215	6,113,162	1,386,825	5,709,150
特定養老	65,273	81,218	60,458	72,564
学資保険	841,563	1,012,872	797,005	938,842
上記以外	825	3,312	858	3,498
個人年金保険	756,818	2,436,575	686,957	2,223,577
終身年金	14,028	111,688	14,139	112,374
定期年金	742,777	2,324,799	672,805	2,111,114
夫婦年金	13	89	13	89

	簡易生命保険の保有契約					
	(保険者: 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)				(保険者: 日本郵政公社(当時))	
	平成23年6月末		平成23年3月末		平成19年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険	34,195,575	95,121,915	35,495,745	98,910,033	55,179,692	152,298,879
普通終身	5,012,799	11,419,953	5,070,620	11,543,576	6,037,550	13,700,659
定額型	2,134,040	4,907,109	2,147,992	4,939,807	2,367,177	5,456,120
倍型	854,919	2,449,434	867,688	2,489,793	1,168,631	3,451,588
特別終身	5,634,662	13,630,077	5,691,345	13,738,634	6,577,000	15,478,932
普通定期	5,032	24,068	5,416	25,975	12,607	59,300
普通養老	9,115,258	22,353,769	9,761,422	23,924,362	19,264,113	47,243,499
特別養老	7,208,407	33,409,975	7,573,580	35,055,478	11,324,192	52,441,371
特定養老	116,972	212,449	124,118	226,161	173,112	314,368
学資保険	5,971,987	10,994,695	6,102,475	11,241,149	8,869,136	16,393,243
上記以外	1,130,458	3,076,928	1,166,769	3,154,698	2,921,982	6,667,507
年金保険	4,730,706	1,751,360	4,886,361	1,809,436	6,562,824	2,404,505
終身年金	1,342,301	423,692	1,348,484	425,634	1,433,711	453,443
定期年金	3,259,125	1,292,161	3,408,411	1,348,243	4,997,338	1,914,874
夫婦年金	129,182	35,506	129,368	35,558	131,666	36,186

(注) 簡易生命保険契約の計数については、管理機構及び郵政公社における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することができません。

### 3 損益の状況

平成23年度第1四半期累計期間は、経常収益3兆4,740億円、経常費用3兆3,523億円、経常利益1,216億円となりました。

経常利益に、特別損益として価格変動準備金戻入額9億円等を加減し、契約者配当準備金として825億円を繰り入れた結果、税引前四半期純利益は387億円となり、四半期純利益は237億円となりました。

	平成23年度 第1四半期累計期間 (23.4.1~23.6.30)	平成22年度 第1四半期累計期間 (22.4.1~22.6.30)	差額	平成22年度 (22.4.1~23.3.31)
経常収益	34,740	35,891	1,151	133,754
保険料等収入	18,247	19,110	863	73,423
資産運用収益 (注1)	3,967	4,274	306	16,628
その他経常収益	12,524	12,505	18	43,703
支払備金戻入額	-	1,567	1,567	1,108
責任準備金戻入額	12,518	10,895	1,622	42,523
経常費用	33,523	34,668	1,145	129,532
保険金等支払金	31,706	32,754	1,048	122,749
責任準備金等繰入額 (注2)	289	47	241	177
資産運用費用 (注3)	48	364	316	472
事業費	1,273	1,301	28	5,355
経常利益	1,216	1,222	5	4,222
特別利益 (注4)	9	8	0	117
特別損失	13	0	12	2
契約者配当準備金繰入額	825	896	70	3,119
税引前四半期純利益	387	333	53	1,218
法人税等合計	149	120	29	445
四半期純利益	237	213	24	772

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入3,851億円、有価証券売却益114億円等です。

注2 責任準備金等繰入額は、支払備金繰入額249億円、契約者配当金積立利息繰入額39億円です。

注3 資産運用費用は、金銭の信託運用損40億円等です。

注4 特別利益は、保険業法施行規則で定める積立限度額を超過したことに伴う価格変動準備金戻入額9億円です。

勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

# 4 資産・負債の状況

総資産は、平成22年度末比1兆8,410億円減少し、9兆4,457億円となりました。  
純資産は、その他有価証券の含み益が減少しましたが、利益剰余金が増加したことにより、1兆2,088億円となりました。

		平成23年度 第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	差額 -	
資 産		949,457	967,867	18,410	
	現金及び預貯金	9,218	20,461	11,242	
	金銭の信託	2,353	2,253	99	
	有価証券		767,539	771,730	4,191
		国債	631,927	641,030	9,102
		地方債	66,839	62,557	4,281
		社債	61,211	60,905	306
	外国証券	7,561	7,237	324	
	貸付金 (注1)	145,284	145,474	190	
	有形固定資産	878	898	19	
繰延税金資産 (注2)	3,389	3,097	292		
負債及び純資産	949,457	967,867	18,410		
負 債		937,368	955,790	18,422	
	保険契約準備金	915,769	928,178	12,409	
	退職給付引当金	566	557	9	
	価格変動準備金	4,086	4,096	9	
	純資産		12,088	12,076	11
		資本金	5,000	5,000	-
		資本剰余金	5,000	5,000	-
利益剰余金		1,909	1,864	44	
その他有価証券評価差額金	179	211	32		

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 貸付金は、機構貸付14兆211億円、一般貸付4,952億円、保険約款貸付120億円です。

注2 繰延税金資産は、責任準備金2,291億円、支払備金564億円等の将来減算一時差異に係るものです。

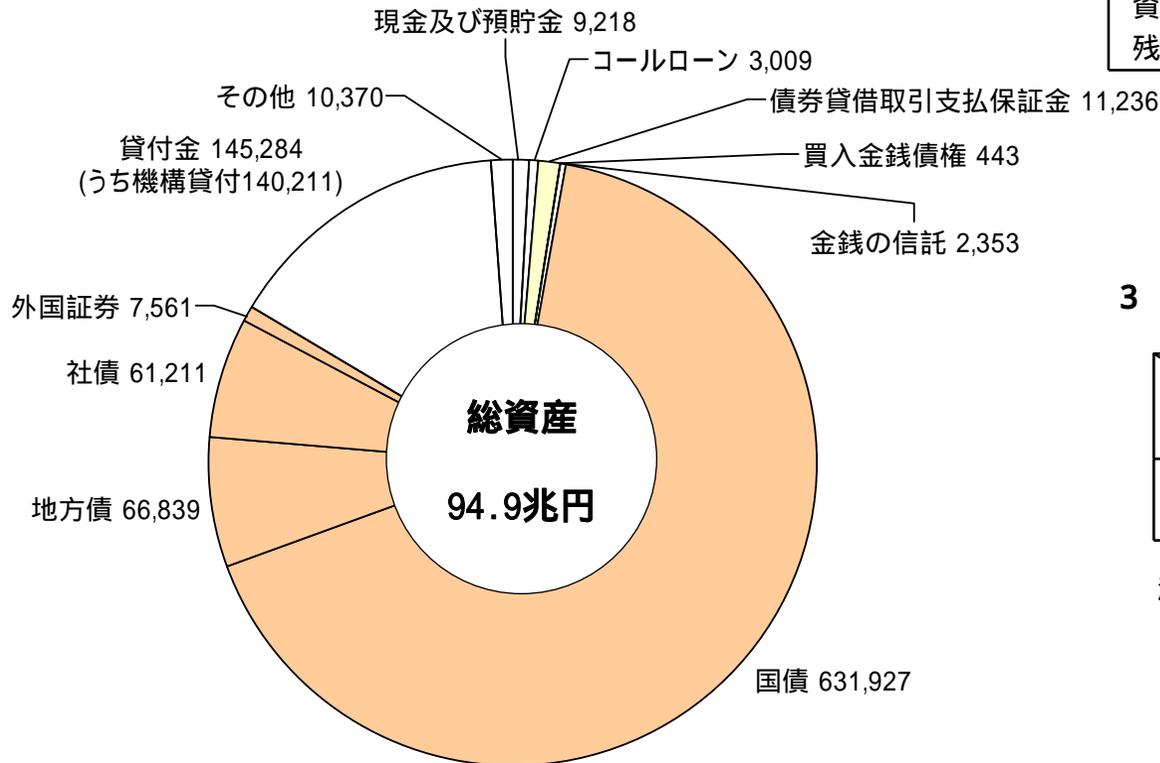
勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

# 5 資産運用の状況

かんぽ生命の資産運用は、国債を中心とした有価証券が76兆円、貸付金が14兆円等で平成23年度第1四半期末の残高は、94兆9千億円となっております。

## 1 資産構成

(単位:億円)



## 2 資産残高

	平成23年度 第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
資産残高	94.9兆円	96.7兆円	100.9兆円	106.5兆円	112.5兆円

## 3 運用利回り

	平成23年度 第1四半期累計期間 (23.4.1~23.6.30)	平成22年度 (22.4.1~23.3.31)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)
運用利回り	1.64%	1.64%	1.58%

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

# 5 資産運用の状況

満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では2兆8,441億円の含み益となっております。  
 その他有価証券では281億円の含み益となっております（税効果適用後は179億円）。

## 4 含み損益の状況

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)		平成22年度末 (23年3月31日)	
	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)
<b>合 計</b>	<b>77兆6,867億円</b>	<b>2兆8,441億円</b>	<b>78兆3,459億円</b>	<b>2兆2,410億円</b>
満期保有目的の債券	41兆8,553億円	1兆6,829億円	41兆 321億円	1兆2,055億円
責任準備金対応債券	29兆2,675億円	1兆1,330億円	30兆1,524億円	1兆 22億円
その他有価証券	6兆5,638億円	(注1) 281億円	7兆1,613億円	(注2) 332億円
有価証券等	6兆3,186億円	380億円	6兆9,320億円	372億円
金銭の信託	2,452億円	99億円	2,293億円	40億円

注1 税効果適用後の金額は、179億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、211億円になります。

## 5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
日経平均株価	10,100円	10,100円	8,900円	8,200円	14,500円

(参考) 日経平均株価、円相場、円金利(10年国債)の推移

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
日経平均株価	9,816円	9,755円	11,089円	8,109円	12,525円
円ドル	80.73円	83.15円	93.04円	98.23円	100.19円
円ユーロ	116.84円	117.57円	124.92円	129.84円	158.19円
円金利(10年国債)	1.130%	1.255%	1.395%	1.340%	1.275%

# 6 基礎利益の状況

平成23年度第1四半期累計期間の基礎利益は1,445億円となりました。  
 逆ざやが286億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっているものです。  
 平均予定利率は1.92%で、利子利回り1.78%との差は0.13%です。

## 基礎利益の内訳（三利源）

	平成23年度第1四半期累計期間 (23.4.1~23.6.30)	平成22年度第1四半期累計期間 (22.4.1~22.6.30)	差額 ( - )
基礎利益	1,445億円	1,314億円	130億円
(内訳) 危険差益	1,020億円	979億円	40億円
費差益	711億円	854億円	142億円
利差益(逆ざや)	286億円	519億円	232億円

平成22年度 (22.4.1~23.3.31)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)
4,844億円	4,271億円
3,572億円	3,247億円
2,665億円	3,386億円
1,393億円	2,362億円

## (参考) 基礎利益上の平均予定利率

	平成23年度第1四半期累計期間 (23.4.1~23.6.30)	平成22年度第1四半期累計期間 (22.4.1~22.6.30)	差 ( - )
平均予定利率 (注1)	1.92 %	1.97 %	0.05 %
利子利回り (注2)	1.78 %	1.73 %	0.05 %

平成22年度 (22.4.1~23.3.31)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)
1.95 %	1.99 %
1.79 %	1.73 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。(期始責任準備金+期末責任準備金-予定利息)×1/2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支(キャピタル損益を含まない運用収支)等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

# 7 健全性の状況

平成23年度第1四半期末では、危険準備金2兆8,747億円及び価格変動準備金4,086億円を合わせた3兆2,834億円を内部留保として積み立てております。  
また、逆ざや等を補填するための追加責任準備金を6兆3,848億円積み立てております。

## 1 内部留保の積立状況

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
危険準備金	2兆8,747億円	2兆8,859億円	2兆9,506億円	2兆8,862億円	3兆762億円
限度額(充足率)	2兆9,670億円 (97%)	3兆108億円 (96%)	3兆1,623億円 (93%)	3兆3,588億円 (86%)	3兆5,690億円 (86%)
価格変動準備金	4,086億円	4,096億円	4,214億円	4,465億円	5,590億円
限度額(充足率)	4,086億円 (100%)	4,096億円 (100%)	4,214億円 (100%)	4,465億円 (100%)	5,590億円 (100%)
内部留保合計	3兆2,834億円	3兆2,956億円	3兆3,720億円	3兆3,328億円	3兆6,352億円

## 2 追加責任準備金の積立状況

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
追加責任準備金	(注) 6兆3,848億円	6兆4,132億円	6兆5,400億円	6兆8,504億円	7兆1,925億円

注 平成22年度末より、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構の受再保険の終身年金等を対象に、責任準備金を10年間にわたり新たに追加して積み立てることとしており、平成23年度第1四半期に積み立てた額は411億円となります。

## 3 ソルベンシー・マージン比率及び実質純資産

	平成23年度第1四半期末 (23年6月30日)	平成22年度末 (23年3月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)
ソルベンシー・マージン比率	(注) 1,899.1%	(注) 1,821.6%	1,663.9%	1,429.7%	1,116.3%
実質純資産	7兆5,139億円	6兆9,056億円	6兆5,987億円	6兆2,036億円	6兆131億円

注 平成24年3月31日から適用される算出基準に基づき算出した場合のソルベンシー・マージン比率は、平成23年度第1四半期末において1,206.0%、平成22年度末において1,153.9%となります。